

**重点医師偏在対策支援区域における
診療所の承継・開業支援事業（令和７年度先行実施分）
における区域の設定等について**

和歌山県福祉保健部福祉保健政策局医務課

- 「重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業」の事業概要や補助率等については、令和7年3月28日開催の令和6年度第3回和歌山県医療対策協議会における資料5「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ及び先行的な医師偏在是正プランについて（報告）」をご参照ください。
- 今回は、本事業を実施するに際し、まずは和歌山県内における「**重点医師偏在対策支援区域**」を設定し、**支援対象診療所の診療科目等を決定**するためにご意見をお伺いするものです。

先行的な医師偏在是正プランの策定に係る今後の流れについて

- 厚生労働省への第1回実施計画提出締切：**令和7年5月30日** ※厚生労働省によると第2回以降も実施予定（締切日は未定）
- 厚生労働省へ実施計画（＝先行的な医師偏在是正プラン）を提出するに際し、「**重点区域の設定**」と「**支援対象診療所の決定**」の2段階で、**保険者協議会及び医療対策協議会で協議・合意が必要**

※重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業の実施について（R7.3.5付け厚生労働省医政局長通知）抜粋要約

重点区域の設定：厚生労働省が提示する候補区域を参考としつつ、地域の実情に応じて、医師偏在指標、可住地面積あたり医師数、住民の医療機関へのアクセス、診療所医師の高齢化率、地域住民の医療のかかり方、今後の人口動態等を考慮して、地域医療対策協議会及び保険者協議会で協議して選定。重点区域は、二次医療圏単位のほか、地域の実情に応じて、市区町村単位、地区単位等で選定可能

支援対象診療所：重点区域において、承継又は開業する診療所であって、都道府県の地域医療対策協議会及び保険者協議会で支援対象として合意を得た診療所

【 第1回実施計画提出締め切りまでの流れ 】

重点医師偏在対策支援区域の設定

保険者協議会
医療対策協議会

●今回の
書面開催
(5/2 回答締切)

支援対象診療所の公募・選定

県

●公募期間
5月上旬～5月中下旬

支援対象診療所及び支援内容の決定
(先行的な医師偏在是正プランの策定)

保険者協議会
医療対策協議会

●5月下旬
書面開催（予定）

厚生労働省に実施計画の提出

県

●5/30までに提出

参考 厚生労働省が提示する候補区域

➤ 厚生労働省の候補区域選定の基準

以下のいずれかに該当する区域

- ① 各都道府県の医師偏在指標が最も低い二次医療圏 → **本県はここに該当して新宮医療圏が候補区域**
- ② 医師少数県の医師少数区域
- ③ 医師少数区域かつ可住地面積当たりの医師数が少ない二次医療圏

➤ 全国 109 区域

都道府県	二次医療圏	都道府県	二次医療圏	都道府県	二次医療圏	都道府県	二次医療圏	都道府県	二次医療圏
北海道	南檜山	宮城県	仙南	群馬県	桐生	長野県	飯伊	山口県	柳井
北海道	北渡島檜山	宮城県	大崎・栗原	群馬県	太田・館林	長野県	木曽	山口県	長門
北海道	南空知	宮城県	石巻・登米・気仙沼	埼玉県	利根	岐阜県	西濃	徳島県	西部
北海道	北空知	秋田県	県北	埼玉県	北部	岐阜県	飛騨	香川県	小豆
北海道	日高	秋田県	県南	埼玉県	秩父	静岡県	賀茂	愛媛県	八幡浜・大洲
北海道	富良野	山形県	最上	千葉県	山武長生夷隅	静岡県	富士	高知県	幡多
北海道	宗谷	山形県	庄内	千葉県	君津	静岡県	中東遠	福岡県	京築
北海道	北網	福島県	県南	東京都	島しょ	愛知県	西三河北部	佐賀県	西部
北海道	遠紋	福島県	相双	神奈川県	県西	愛知県	東三河北部	長崎県	県南
北海道	釧路	福島県	いわき	新潟県	下越	三重県	東紀州	熊本県	宇城
北海道	根室	福島県	会津・南会津	新潟県	県央	滋賀県	甲賀	大分県	西部
青森県	八戸地域	茨城県	日立	新潟県	中越	京都府	丹後	宮崎県	都城北諸県
青森県	西北五地域	茨城県	常陸太田・ひたちなか	新潟県	魚沼	大阪府	中河内	宮崎県	延岡西臼杵
青森県	上十三地域	茨城県	鹿行	新潟県	上越	兵庫県	丹波	宮崎県	西諸
青森県	下北地域	茨城県	取手・竜ヶ崎	新潟県	佐渡	奈良県	西和	宮崎県	西都児湯
岩手県	岩手中部	茨城県	筑西・下妻	富山県	砺波	和歌山県	新宮	宮崎県	日向入郷
岩手県	胆江	茨城県	古河・坂東	石川県	能登北部	鳥取県	中部	鹿児島県	出水
岩手県	両磐	栃木県	県北	福井県	奥越	島根県	雲南	鹿児島県	曾於
岩手県	気仙	栃木県	県西	福井県	丹南	島根県	大田	鹿児島県	熊毛
岩手県	釜石	群馬県	渋川	山梨県	峡東	岡山県	高梁・新見	鹿児島県	奄美
岩手県	宮古	群馬県	伊勢崎	長野県	上小	岡山県	真庭	沖縄県	宮古
岩手県	久慈	群馬県	吾妻	長野県	上伊那	広島県	尾三		

令和7年度先行実施に係る重点医師偏在対策支援区域の設定

➤ 以下の選定理由から、**厚生労働省提示の候補区域どおり、新宮医療圏を重点区域に設定したい。**

【 選定理由 】

- ① 厚生労働省提示の候補区域に該当するのは、県内では新宮医療圏のみであること
- ② 医師偏在指標（※）で、県内で唯一新宮医療圏が医師少数区域であること
- ③ 外来医師偏在指標（※）で、新宮医療圏を除く全ての二次医療圏が外来医師多数区域であること

※ 両指標とも、都道府県ごとの「医療需要（ニーズ）及び人口・人口構成とその変化」「患者の流出入等」「医師の性別・年齢分布」等に基づいて算定される指標。全国の全二次医療圏335のうち、の上位1/3を医師多数区域、下位1/3を医師少数区域と設定

【 保健医療圏ごとの診療所の状況 】

保健医療圏	人口	一般診療所		医師偏在指標		外来医師偏在指標		(参考)10万人当たりの一般診療所数	(参考)病院数
		施設数	医師数						
和歌山県	891,620	1,008	1,013	274.9		133.6		113.1	83
和歌山	402,092	478	521	347.0	医師多数区域	148.9	外来医師多数区域	118.9	43
那賀	111,250	111	117	194.8		125.0	外来医師多数区域	99.8	8
橋本	80,162	88	85	217.2		113.9	外来医師多数区域	109.8	5
有田	66,471	75	56	180.8		133.2	外来医師多数区域	112.8	6
御坊	57,480	62	58	243.9	医師多数区域	140.1	外来医師多数区域	107.9	4
田辺	116,087	123	116	216.5		121.3	外来医師多数区域	106.0	9
新宮	58,078	71	60	162.2	医師少数区域	95.7		122.2	8

・人口 R5.10.1推計人口（和歌山県）

・一般診療所施設数及び病院数 R5.10.1医療施設調査（厚生労働省）

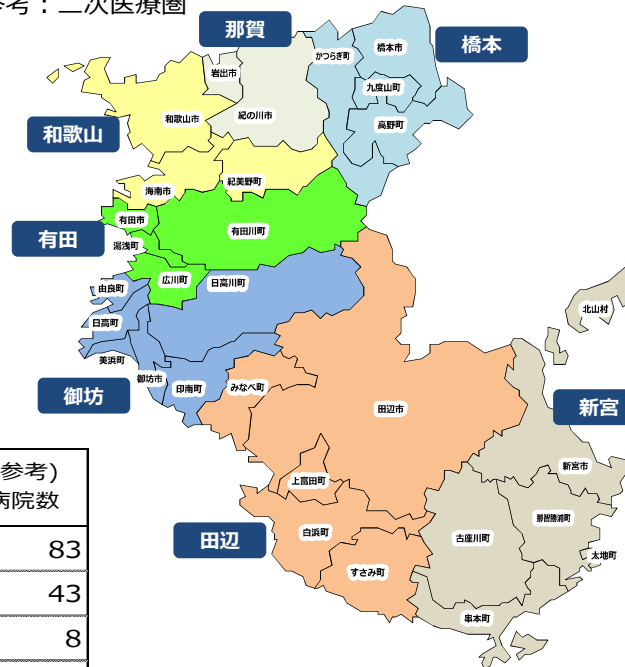
・医師偏在指標及び外来医師偏在指標 第八次和歌山県医師確保計画及び第八次和歌山県外来医療計画

【 その他 】

➤ 新宮医療圏においてはどの診療科目の診療所であっても、新規開業や承継により地域医療を維持・確保すべき状態にあるため、**公募する支援対象診療所の診療科目は限定せず、保険医療機関として診療を行う一般診療所（＝医科）としたい。**

※自由診療は対象外

参考：二次医療圏



その他の検討事項

- 前回会議（R7.3.28 令和6年度第3回医療対策協議会）で本事業に対していただいた意見
 - ・医師の地域偏在により新宮医療圏の病院へ政策的に医師派遣を行っている状況において、新宮医療圏内の病院勤務医が診療所を開業してしまう恐れを危惧



- 方針案
 - ・病院勤務医の開業を除外する旨の要件は付さないこととしたい
- 方針案の考え方
 - ・病院と診療所は、相互に連携にして地域医療提供体制を確保していくべきものであること。
 - ・診療所が増えることにより、外来機能が充実し、より相互連携を含めた地域医療提供体制の確保につながる。
 - ・なお、病院勤務医の確保は、引き続き、当該病院、県立医大、県が連携し、対応していく。